

第21年度 事業方針

山科・醍醐地域のなかで関係機関との連携事業や実行委員会、学校での出前授業や放課後・土曜日などの協力が進み、子どもたちが過ごす場への活動の届け直しが進んできたこの3年間。げんきスポット0-3、創作劇、町たんけん、のびのび、遊びのアウトリーチ事業など、どの形態の活動も拠点での活動や参加者を募集するというカタチだけでなく、出向き・届ける・触れ合うを実践していただき「こどものひろば」に出会う子どもはとて多くなりました。

一方で、主催事業として参加者を募る形式の活動では参加者が安定せず、また継続的に関係づくりをしていく上で運営体制が厳しいという事業もでてきています。一緒に活動してくれる人が少ないという声もあがっており、運営についての考え方の共有と体制の見直しが急務となっている。

従来、「やりたい」という思いや声、「活動してほしい」という地域からの希望より活動を主体的な会員の皆さん、ボランティアの皆さんの取り組みとして積み上げてきました。そのことは「子どもたちとともに育ち合う」ために、今どんなことができるのかということでもあったと思います。事業はあくまで手段とも言えます。39年目にもなった活動団体としては、どうしてもどのように活動を維持するか、運営するかという議論にもなりがちです。だからこそあらためて、今の子どもたちと、今活動をつくる方々、そして新しく関わってみたいと考えてくれる方々で、常に「今どうしていきたいか」を考え、その手段を生み出していく、変化していくことが大切だと考えています。子どもだけでなく、関わるおとなたちも一緒に育ち合う視点に立ち、だれもが主体的に自分らしく活動していくということはどういくことなのかを捉え直し、「わたしは〇〇がしたい」「わたしは〇〇ができる」「わたしは〇〇にいたい」が溢れる事業、団体運営を目指していく。

特に、従来の事業、運営、会員制度などを下記の6つの視点を軸に、組み立て直していくことを目指す。

【大きな6つの視点】

- 1.子どもたちとともに「やりたい」「できる」から活動を組み立て直す
- 2.ひろば内外でどのような育ちの循環を作り、どのような文化を醸成するか、子どももおとなもともに創造する機会づくり
- 3.子どもが過ごす場へ活動を届け直す
- 4.これからの時代に応じた運営の見直し
- 5.結果として「顔を出しやすい」「過ごしやすい」「居続けたい」と思えるひろばを実現する（物理的にも精神的にも）
- 6.上記を実現する上で事業の整理や分社化など（収益事業、課題解決型事業を別で）も行なう

第21年度 各事業計画

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	予算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	演劇部ぼっぴ・こーん公演	-	-	-	-	-
子どもが自 ら創る体験 活動事業	Jr. キャンプ 小学生3年～中学3年対象で年間 を通じての子どもと企画をした体 験活動を行う。	通年	地域一円	1	地域の子ども 40人	11
	こどもフェスタ 当法人主催の子ども主体の「祭 典」を実施する。	4月	本願寺 山科別院	150	地域の 子どもと大人 700人	-
	わんぱくクラブ 幼児・低学年の子ども達を対象 に、舞台鑑賞や野外活動を実施 する。	通年	地域一円	8	地域の子ども 30人	345
	山科醍醐こどもの創作劇 演劇部 ぼっぴ・こーん居場所活動、「あつ まれ！げきひろば」 演劇を手段とした居場所活動と単 発のワークショップ。	通年	社会福祉法人同 和園、勤修寺公 会堂他	2人	地域の子どもと大 人のべ150人	624
	町たんけん 地域を知り、その中の出会いから 人と人がつながり、より良い地域 になることを目指す。山科かるた や、ガイドブックを普及させ、有効 活用できるように、小学校を巻き 込んだ活動を始める。 ※山科“きずな”支援事業補助金	通年(小学生との 町たんけん活動は 夏～春)	地域一円	10人 (スタッフ・ ボランティア・ 講師)	小学生15名 だいすき山科ノート (報告書)などを児 童・区民約1500 名に配布 学校訪問参加児童 数約170人	543 (助成金150)
げんきスポット0-3(ゼロさん) 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット」にて実施する。屋根のあ る公園を目指す。※京都市の委 託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット	8	地域の 子どもと大人 のべ6500人	6567 (委託金6219)	
楽習サポートのびのび 集団活動が苦手なこどもや、学習 機会の少ないこども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな いこどもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	40人	地域の子ども: のべ200人	-	

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	予算額 (千円)
子育てサ ポート事業	<u>子どもの貧困対策事業</u> 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな い子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業	通年	地域一円	40人	地域の子ども: のべ200人	4500 (助成金4000)
	<u>山科醍醐地域ひとり親家庭等へ の生活・学習・居場所サポート事 業</u> 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託事業	通年	地域一円	40人	子ども: のべ200人 保護者: のべ15人	8350 (委託金8350)
	<u>外部保育受入事業</u> 外部団体からの保育依頼を受け 入れる。	通年	京都一円	5	—	—
ボランティ アサポート 事業	<u>ボランティア・研修部</u> ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なう。 ボランティア活動に参加する際 の、子どものかかわり方や、参 加者が希望する内容の研修会を 定期的実施する。	通年	当法人事務所	4	—	—
	<u>講師派遣・インターンシップ受入 事業</u> 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4	—	1,200
	<u>のびのび@たいむ</u> のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	5	のべ60人	—
広報・出版 事業	<u>コッペパン</u> 広報誌「コッペパン」の発行	季刊	—	2人	1000部4回	—
	<u>ひろばつうしん</u> 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラ シ、外部団体のチラシなども発 送。	月刊	—	—	150部を12回	—
	<u>ひろばの本</u> 「貧困とひとりぼっちのないまち」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	—
	<u>サポートBOOK</u> 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	—

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	予算額 (千円)
広報・出版 事業	ホームページ 当法人におけるホームページの 定期的な更新情報の発信及び、 基本情報の公開を行う。	通年	-	-	-	-
ネットワーク づくり事業	分野連携ボランティアネットワーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行う。	通年	-	-	-	-
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として 山科で子育てサークルや子ども 支援をしている諸団体との交流を 行う。子育て支援サロンを開催す る。	5月 ～ 3月 年間10回	社会福祉協議会 他	13 (ひろば内3)	のべ300	-
	遊びのアウトリーチ事業 小学校の放課後に、大学生や地 域の方と遊びを通して、関わる機 会をつくる。	通年	地域小学校	1	のべ50	37
	勤修中学校区 こどもの学びサ ポートプロジェクト 山科青少年活動センター、山科区 社会福祉協議会、勤修中学校等 連携事業	通年	勤修中学校区	2	京都市立勤修中学 校の生徒30名	500 (助成金500)
	中3勉強会(おぐりす・だいご・醍 醐支所) 生活保護受給者等中学生学習支 援プログラム。 ※京都市ユースサービス協会再 委託事業	通年	醍醐事務所 トハウス 醍醐支所	15人	6人 5人 20人	2706 (委託金2706)
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催:社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	こども生活支援セ ンター	2	-	-
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランティ ア呼びかけなど。	通年	-	2	-	-
	ランランおでかけひろば 会員同士の交流、支援会員その 家族も含む。	年2回	未定	2	25	2
	京都市子どもの居場所づくりアド バイザー事業 子どもの居場所づくりをしている個 人・団体への相談・研修を行なう。 ※京都市の委託事業	通年	京都市内	-	-	3463 (委託金3463)